

総合情報処理センターの設置と統合情報ネットワークの 整備推進をお祈りして

前情報処理センター運営委員会委員長 柴原 正雄

8月初旬、センター広報小委員会の佐藤委員長よりご依頼があり、既に3月に定年退官致しましたがものが遅れ馳せのご挨拶を申し上げることになった次第で、何卒、失礼の点のお許しを先ずお願い申し上げます。

さて、私こと、昭和61年4月からセンター運営委員会規定によって委員長を勤めさせて戴きましたが、この4月からは小堀工学部長に引き継ぎ申した次第であります。在任中の3年間は、私の40有余年の金沢大学在勤中でも最も印象深い期間でありまして、去る2月15日付の事務通報（39巻11号）の特集欄（金沢大学の思い出）でも述べさせて戴きましたが、全学的問題に係る情報処理センター運営委員会、そして前々からユーザ各位や関係各位から強く要望されておりました総合情報処理センター設置に係る委員会（総合情報処理センター構想検討委員会、同設立実務委員会）等では、吉田センター長はじめ各部局からの委員各位や事務部各位には大変なご苦勞を戴き、それぞれに格別のご尽力を新生金沢大学の建設と発展に致され、微力な不肖委員長をご支援賜りましたことは誠に有難く、ここに改めて衷心から厚くお礼申し上げますのであります。

角間地区への総合移転も進んでおります金沢大学としては、新キャンパスにおける将来を見通した学内統合情報ネットワーク構築への綿密な構想確立とともに、組織と内容の充実した総合情報処理センターの設置実現を、他大学との比較においても、是非とも64年度概算要求で願いたいものと、センター長はじめ各委員会委員各位挙って念願致し、それぞれに尽力され、また関係部局の全学的立場からの格別のご協力も得たのであります。昨年5月末での状況は「総合情報処理センター設立への背水の陣」としてセンター広報12巻1号（1988/12）にも述べさせて戴きましたが、その後の努力、特に吉田センター長はじめ事務部各位の断えざるご尽力にもかかわらず、諸般の事情があったとはいえ、遂に次年度へと見送らざるを得ない結果となりましたことは、誠に慙愧に耐えないところであります。

総合情報処理センター設立実務委員会では、第8回（昭和63.9.26）には学内統合情報ネットワークに伴う電話交換機システムにつき、また第9回（11.4）には総合情報処理センターの角間地区での設置計画につき、設置場所、規模及び年次計画等に関して審議し、それぞれ将来計画検討委員会に答申して承認され、概算要求の全学的計画合意の根拠確立に尽力戴き、さらに第10回

（12.5）では学内統合情報ネットワーク検討小委員会の設置も承認願ひ、インテリジェントキャンパスを目指した統合情報ネットワークにつき本格的に審議を進めて戴くことに致した次第でありま

す。

なお、この間、運営委員会では第3回（11. 24）、第4回（12. 21）で教育研究特別経費のご配慮による機種更新を、また第5回（平成1. 2. 27）、第6回（3. 27）ではレンタル料アップに伴うシステム更新、新ネットワークの構成と接続等につきご審議を戴き、情報処理機能と学術ネットワーク等を総括して、金沢大学の基幹大学として具備すべき基本的条件に齟齬のないよう、年度末ぎりぎりまで委員各位のご審議を煩わした次第であります。特に、長年にわたり、献身的なご努力を尽された吉田センター長には、念願の総合情報処理センターの実現を見ずに3月末をもってご退官されましたことは誠に申し訳けなく、残念の一語に尽きる思いであります。

ここに、改めて先生のご健勝を念じ、新年度には新委員長のもと、新センター長はじめ委員各位の変らざるご尽力と各部局のご協力によって、どうか新生金沢大学の活力あるエネルギー源となるセンターのハード、ソフト両面ともどもの円滑な確立発展と運営が具体化されますよう衷心から祈念致し、また皆様方のご健勝とご発展をお祈りしてご挨拶と致します。

（平成1. 8. 18）